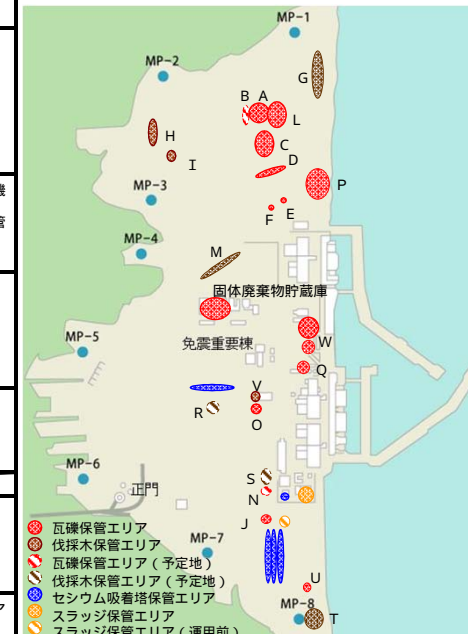


## ガレキ・伐採木の管理状況(2015.3.31時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率 (mSv/h)	保管量 <sup>1</sup>	前回報告比 <sup>2</sup> (2015.2.28)	変動 <sup>3</sup> 理由	エリア占有率	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス	
ガレキ	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	C	屋外集積	0.01未満	55,600 m <sup>3</sup>	+2,900 m <sup>3</sup>		98%	97900 / 158100 (62%)	・主なガレキは、工事で発生した廃材。 ・エリアP1造成完了、運用準備開始 (2014年10月24日) 瓦礫受入開始 (2015年1月19日)
		F	屋外集積	0.01	4,100 m <sup>3</sup>	+600 m <sup>3</sup>		55%		
		J	屋外集積	0.03	4,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		98%		
		O	屋外集積	0.02	26,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		95%		
		P	屋外集積	0.01未満	6,600 m <sup>3</sup>	+4,400 m <sup>3</sup>		11%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		100%			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		88%	28000 / 48300 (58%)	・主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 ・今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。 ・エリアP2造成完了、運用準備開始 (2016年10月24日)
		E	シート養生	0.02	4,400 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>		28%		
		P	シート養生	0.01未満	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		0%		
		W	シート養生	0.03	21,000 m <sup>3</sup>	+400 m <sup>3</sup>		72%		
	覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	8,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		100%	17600 / 23700 (74%)	・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 ・1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3,4槽設置 (8,000m <sup>3</sup> )の安全協定に基づく事前了解 (H26年8月12日)。 ・エリアE2造成完了、運用準備開始 (2014年10月24日) 保管容器 <sup>4</sup> 受入開始 (2014年12月9日) ・覆土式一時保管施設3槽設置工事開始 (2014年11月10日)
		A	仮設保管設備	0.32	3,300 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>		46%		
		E	容器	0.01未満	100未満 m <sup>3</sup>	微増		2%		
F		容器	0.01	600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		99%			
Q	容器	0.12	5,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		93%				
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器	0.03	5,400 m <sup>3</sup>	+200 m <sup>3</sup>		45%	5400 / 12000 (45%)	・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 ・第9槽設置 (ドラム缶 約11万本) に向けて安全協定に基づく事前了解 (2014年8月12日)。 ・第9槽設置に伴う実施計画変更認可申請 (2014年8月13日)	
合計 (ガレキ)				149,100 m <sup>3</sup>	+8,900 m <sup>3</sup>		62%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01	14,600 m <sup>3</sup>	-700 m <sup>3</sup>		82%	63200 / 88200 (72%)	・主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 その他工事で発生した幹・根を随時受入中。
		I	屋外集積	0.01	10,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		100%		
		M	屋外集積	0.01	38,100 m <sup>3</sup>	+500 m <sup>3</sup>		85%		
		V	屋外集積	-	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		0%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	7,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		27%	17400 / 50100 (35%)	・当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入完了。
T	伐採木一時保管槽	0.01	10,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		44%				
合計 (伐採木)				80,500 m <sup>3</sup>	-200 m <sup>3</sup>		58%			

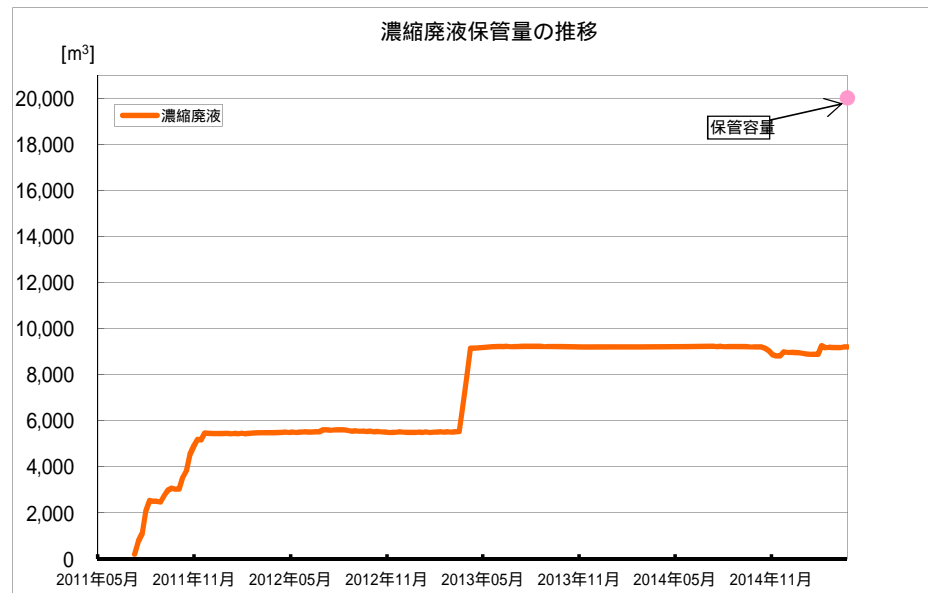
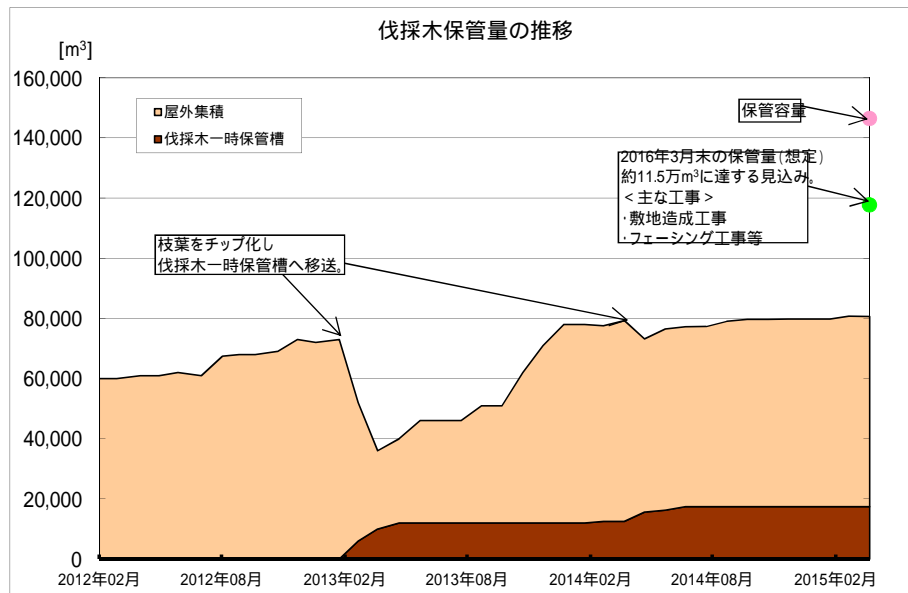
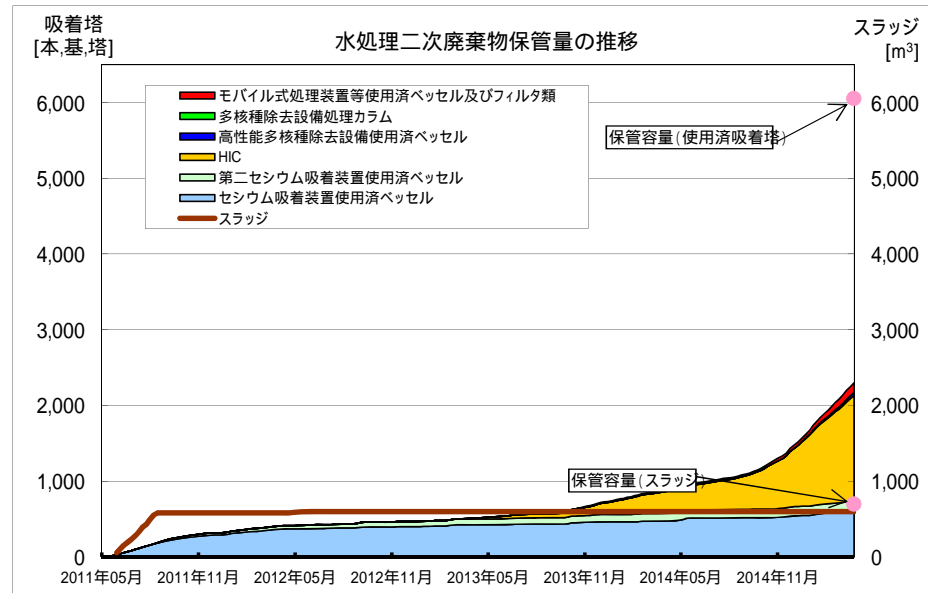
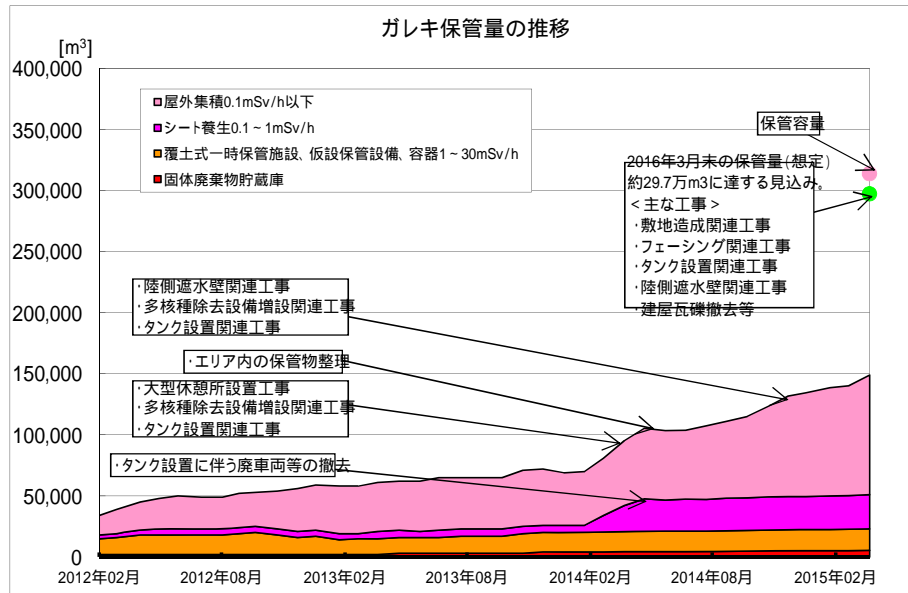


- 1 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- 2 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは100m<sup>3</sup>未満の増減を示す。
- 3 主な変動理由: タンク設置関連工事 多核種除去設備増設関連工事 フェーシング関連工事 陸側遮水壁設置関連工事 焼却対象物の集約作業 1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 エリア整理 固体廃棄物貯蔵庫9棟設置工事 等
- 4 水処理二次廃棄物 (小型フィルタ等) を含む。

## 水処理二次廃棄物の管理状況(2015.4.23時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2015.3.19)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	614 本	+24 本	2299 / 6055 (38%)	・多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設 (第三施設) 全容量 (容量3,456本) の使用前検査終了 (2015年4月13日, 1,536本増) ・使用済吸着塔一時保管施設 (第一施設) の吸着塔保管ラック復旧 (50本増)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	124 本	+3 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	925 基			+92 基
			増設	469 基			+91 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	38 本			+14 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	3 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		126 本	+31 本				
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ		597 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,203 m <sup>3</sup>	+12 m <sup>3</sup>	9203 / 20000 (46%)		

# ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液の保管量推移



放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分類 名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	3月		4月				5月			6月			7月			備考	
				22	23	3	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28		
放射性廃棄物の保管管理・処理・処分計画	1. 発熱量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討	検討	発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討															
			(予定) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討	現場作業																
	2. 保管適正化の推進	ドラム缶保管施設の設置	(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9機の設計 ・準備工事(試掘、掘取り)	検討	固体廃棄物貯蔵庫第9機の設計															・2014年8月12日:安全協定に基づく事前了解【規制庁開通】 ・2014年8月13日:実施計画変更認可申請
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9機の設計 ・準備工事(試掘、掘取り) ・本体工事(土工事)	現場作業	準備工事(試掘、掘取り) 本体工事(土工事)															
			(実績) ・更新計画の策定	検討	更新計画の策定															
		(予定) ・更新計画の策定	現場作業																	
		(実績) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	検討	雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事															雑固体廃棄物焼却設備:2015年度10月稼働予定 ・建屋工事(~2015年6月) ・機電工事(~2015年6月) ・試運転期間(2015年7月~2015年10月) 【主要工事工程】 ・基礎工完了:2013年10月5日 ・上部躯体工事:2013年8月24日~ ・1階PC柱・梁取付完了:2013年12月12日 ・2階PC柱・梁取付完了:2013年4月7日 ・使用前検査(焼却炉建屋、雑固体廃棄物焼却設備) 2014年12月8日~	
		(予定) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	現場作業	雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事																
	覆土式一時保管施設3.4槽の設置	(実績) ・覆土式一時保管施設3.4槽の設置に向けた準備 ・設置工事(3槽)	検討	覆土式一時保管施設3.4槽の設置に向けた準備															・2014年8月12日:安全協定に基づく事前了解	
		(予定) ・覆土式一時保管施設3.4槽の設置に向けた準備 ・設置工事(3槽)	現場作業	設置工事(3槽)																
		(実績) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備	検討	一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備																
	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	一時保管エリアの追設/拡張	(実績) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備	検討	一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備															
(予定) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備			現場作業																	
(実績) ・一時保管エリアの保管量、線量率集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続			検討	一時保管エリアの保管量、線量率集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討															線量率集計	
(予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 ・伐採木一時保管槽へ受入(枝葉)			現場作業	一時保管エリアの保管量確認、線量率測定 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 伐採木一時保管槽へ受入(枝葉)																
4. 水処理二次廃棄物の長期保管等のための検討	【研究開発】長期保管の方策の検討	(実績) ・長期保管のための各種特性試験	検討	【研究開発】長期保管のための各種特性試験																
		(予定) ・長期保管のための各種特性試験	現場作業																	
処理・処分計画	固体廃棄物の性状把握	(実績) 【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海)	検討	【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査																
		(予定) 【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海)	現場作業	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング																

地下水観測孔設置工事前倒しによる  
工程見直し(5月中旬 6月上旬)

ガレキ受入(3槽)